

# 平成26年度 第6回太田地域協議会会議録

■日時：平成27年3月19日（木） 午後1時30分～

■会場：太田支所2階 会議室

■出席委員 11名

伊藤勝良、大信田孝文、柏谷良雄、川原猪利、鈴木栄子、根本昇、高橋文子、高橋清一郎、高橋洋、富木勇、水谷英明

■欠席委員 5名

石崎尚、小松泉、小松昌之、小柳真理子、高貝恵子

■出席職員

鈴木喜一（太田支所長）

谷口藤美（市民サービス課長）

佐藤朗（農林建設課長）

安達成年（公民館長）

福原幸二（市民サービス課参事）

煤賀康典（農業振興情報センター参事）

黒澤伸朗（市民サービス課副主幹）

山信田恭弘（市民サービス課主席主査）

■次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
  - ・平成26年度地域枠予算執行事業について
  - ・太田地域振興計画（案）について
- 6 その他
  - ・平成27年度太田支所主要事業について
- 7 閉会

(午後 1 時 30 分開会)

#### ○谷口太田支所市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

皆さんおそろいようですので、ただいまから平成 26 年度、実質本年度最後の開催になりますけれども、第 6 回太田地域協議会を始めさせていただきたいと思います。

それでは、次第に基づきまして進めさせていただきたいと思います。始めに会長からご挨拶をお願いしたいと思います。

#### ○高橋太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

今日で 6 回目の開催となります。1 年というものは本当に早いものだと感じております。

この雪景色から、あと何日かすると若葉の季節、緑の季節になります。そのようなことで、皆さんにはこれまでご難儀をおかけしました。本日はひとつよろしくお願いいたします。

#### ○市民サービス課長

ありがとうございました。

続きまして、鈴木支所長に挨拶をお願いしたいと思います。

#### ○鈴木支所長（以下「支所長」と表記）

それでは、第 6 回太田地域協議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶をさせていただきます。だいぶ雪も消えまして、春の気配が漂って参りましたが、天気予報によりますと今週から来週にかけて寒波が来るということで、まだ冬タイヤは外せないと感じております。

本日は、年度末で何かとお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。私事ですが、前回の地域協議会では、健康管理の不注意によりましてインフルエンザで欠席しまして、大変申し訳ございませんでした。

さて、大仙市の 3 月定例議会も 17 日に終わりました。新年度予算も決定しました。一般会計で約 4 百 5 1 億円という予算でありまして、前年と比較しますと約 2 1 億円の減、率にしますと約 4.4 パーセントの減となっております。太田地域に関係する予算につきましては、後で担当課長より主要事業あるいは予算について説明させていただきますので、よろしくをお願いいたします。今、国の地方創生の関係で、国の 2 月補正予算におきまして、大仙市でも地域を元気にするための予算ということで補正を組んでおります。その中で、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金という事業の中の地方創生先行型ということで、花火産業構想予算としまし

て1億2千6百万円ほどの補正予算を組んでおります。これは平成27年度の予算執行になるということで繰越明許として予算措置しております。また、地方創生に関連して、総合戦略策定経費ということで1千10万円ほどの予算を措置しております。これも来年度への繰越明許ということで進めております。それから、同じ交付金ではありますが、地域消費関係生活支援型ということで、大仙市内全域を対象としたプレミアム付き商品券事業を行う予算といたしまして6月の発行を目処に進めております。内容的にはプレミアム率が2割ということで発行総額は12億円としております。2割ということは千円に対して千200円ということで検討しているところでありまして、ご承知のとおり大仙市が誕生して10年ということで3月の22日には記念式典も予定されておりました、委員の皆さんからも是非出席していただきたいと思っております。委員の皆様には、今日検討していただきます地域振興計画の策定にあたりまして、様々なご意見・ご提言をいただきました。本当にありがとうございました。本日資料として提示しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願いたします。また、地域枠予算執行事業としまして1件の事業を追加しておりますので、何卒ご承認を賜りますようお願いいたします、開会の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

#### ○市民サービス課長

ありがとうございました。

それでは本日の案件に入りたいと思っております。

なお、会議録作成のため、発言の際はどうか皆様マイクを使用くださるようお願いいたします。本日の協議会は、委員の2分の1以上の出席がありますので成立いたしますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては、条例の規定により、高橋会長をお願いいたします。

#### ○会長

それでは、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

富木勇委員、根本昇委員をお願いいたします。

それでは早速、次第5の「協議」に入らせていただきたいと思っております。

はじめに「平成26年度地域枠予算執行事業について」であります。事務局から、説明をお願いします。

#### ○事務局

「平成26年度地域枠予算執行事業について」配布資料に基づき事務局が説明

- ・倉田政嗣パンフレット作成事業

## ○会長

ただいま事務局から「平成26年度地域枠予算執行事業について」説明がありました。協議の方は、この1件のようでございます。ただいまの説明に関しまして、皆さんのほうから質問やご意見がありましたらお願いいたします。

## ○大信田孝文委員

大信田です。私もコンサートに行きまして、盛大なものだったと感じておりました。太田のみならず大仙市全域からいろんな人が来ていたようですし、もっと広く大仙市外にも発信できればと思います。

今回のパンフレットは500部とありますが、どういう配布方法を考えているのでしょうか。全戸配布はできないし、最寄の公共施設などにおくことになろうかとは思いますが、どのように配布を予定しているのか伺いたいです。

## ○市民サービス課長

私の方からお答えします。コンサートプログラムですが、政嗣記念誌も兼ねたような形で作成しました。650部作成しまして当日500部くらい使いました。その後も、欲しい方が参りまして残部は無いような状態でございます。今回500部ということですが、本来であれば偉人を顕彰する会が発足されておりますので、その方達が今後活動を進めていく中で、情報を集約してつくることになるかと思っておりますけれども、この作成したプログラムの中に8割から9割方、パンフレットに使用できる内容のものがああります。不足の場合は顕彰する会の活動で、政嗣の調査などが行われるかと思っておりますので、今回はあまり沢山印刷せずに、試み的に500部くらい作成して欲しい方に差し上げて、2・3年持てばいいかと考えております。

倉田政嗣さんですけれども、太田横沢の出身ということになっておりますが、皆さんご承知のとおり、生まれは雄物川の沼館というところです。9月のコンサートの時も生家の当主の方が見えられていました。情報によりますと、政嗣の生まれは雄物川ということで、そちらで政嗣を顕彰する活動があるとの話もあります。確かに生まれはそうでしょうが、育ったのは太田ですので、向こうに負けないようにインパクトのあるものとして、今回パンフレットを作成してマスコミの方にも情報提供して大きく取り上げてもらうことによって、改めて太田の倉田政嗣というところを覚えていただきたいと考えております。

倉田政嗣についてのパンフレットですが、公民館の方で20年近く前にふるさとシリーズということで小冊子を作っておりますけれども、それ以来、政嗣に関した

こういったものはありませんでした。たまに政嗣に関して何かありませんかという問い合わせもあります。今年度は、国民文化祭も開催されて盛り上がっているこの機会に、このようなものを作成して残したいという思いもありますので、ご理解いただきたいと思います。完成した際は、皆さんにもお届けしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

## ○会長

よろしいでしょうか。

他にございませんか。

質問はないようです。それではこの倉田政嗣パンフレット作成事業について、地域枠予算事業として承認してもよろしいでしょうか。

### 【異議なしの声】

ご承認いただきました。

ありがとうございました。

次に、「太田地域振興計画（案）について」であります。事務局の方から説明をお願いします。

## ○事務局

「太田地域振興計画（案）について」配布資料に基づき事務局が説明

## ○会長

ただいま事務局の方から、計画に対する意見・提言について、計画（案）では地域の現状と課題について、基本理念について、施策別の地域・協働・市による取り組みについて、地域枠予算を活用した取り組みについて、目標指標についての説明をいただきました。これについて皆さんからご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

## ○大信田委員

大信田です。地域振興計画の説明を受けまして、委員から提示された意見等を考慮した修正ということで、我々の意見がある程度、取り入れられたと感じました。少し計画とはかけ離れるかも知れませんが、4ページの健康福祉の部分になります。先般、介護予防の研修会がありまして秋田大学の先生からいただいた講演の中での話しですが、包括的なケアシステムということで、向こう何年かの中で、福祉や医療、ボランティア、事業所が連携を図って、包括的なサイクルのなかで事

業を進めて欲しいという話がありました。将来的に包括的なケアシステムの構築という流れが出来るということでした。そういう内容も、ここに加えて欲しいという思いがありまして、お話をさせていただきました。よろしければお願いします。

#### ○会長

ただいま要望ということでの話がありましたが、事務局の方ではどうでしょうか。

#### ○市民サービス課長

大変貴重なご意見ありがとうございました。実は、ここの健康福祉の部分なんですけど、私共もかなり悩みました。と言いますのは、太田地域に保健師がいないという点です。健康福祉の部分で先頭になって動いて欲しいのが保健師だと思います。保健センター、建物はあるのですが中が空です。保健師がどこにいるかと言えば、東部地域については中仙支所にあります。保健師が支所とか保健センターにいればこそ、様々な取り組みを計画に盛り込みたい訳ですけども、今の体制では難しい問題であります。市の組織機構の見直しなども予定されていますので、地域の声として挙げていかなければいけないと思っております。高齢者や障害のある方についての国の施策、市の施策については大きく変わってきております。介護保険の導入もあります。昔のように福祉サイドだけ、医療サイドだけのサービスの提供ではいけないということもありますので、大信田委員のご意見を参考にして、この計画の中に盛り込むべきと感じます。ありがとうございます。

#### ○会長

他にございませんか。

#### ○水谷英明委員

水谷です。今のお話のところで私の方からもあるのですが、地域包括ケアシステムのほかに、見とりというのが重要になってくるという話もあります。例では50パーセント以上が見とりという市町村もあるということでした。おそらく太田地域も地域的にはそれに近い構造ではないかと思えます。ですので太田地域もこの部分では進んだ取り組みを計画に入れればいいのかではないかと思えますが、どうでしょうか。

#### ○市民サービス課長

健康福祉のまちづくりに関して、資料の15ページに書いておりますけれども、高齢者の見守り運動の推進ということで、太田としていま委員のおっしゃられたよ

うに、高齢者が増えてくる中で、少なくとも孤独死のようなことが無いようにしたいと考えております。そういったことで今のご意見も計画の中に取り込んでいきたいと思っております。ありがとうございます。

いずれ、先ほど担当の方から説明ありましたように、皆さんからのご意見として、具体的な取り組みについていただいたものがありました。こういった意見は大変貴重な意見として承っております。ただこの計画の中には盛り込めませんので、太田にはこういった計画があるのか、こういった取り組みが出来るということになります。地域振興計画は、あくまでも構想、方針、太田の目指すところということで捉えていただきたいと思っております。この計画に書かれた取り組みについて、今後具体化されるということになりますので、その所はご理解いただきたいと思っております。

## ○会長

水谷委員よろしいですか。

他にございませんか。

## ○根本昇委員

根本です。この計画書を見て、すごく一生懸命になって作られたんだと感じているところです。私はずっと商売をやってきておまして、時代とといいますか、環境とといいますか、ここ10年くらいで凄く代わってきたと感じています。酒屋だけでいえば13件あったのが、もう5件しかない。商業の立場から言えば、地域に商店がなくなってきましたし、自分自身も限界集落という言葉もありますけれども、限界商店だなと年々感じてきております。私たちの住んでいる地域の今後の10年を考えると、ますます子供も減り高齢者が増える訳です。今後10年の計画ということで、内容的にはもっともだと感じるのですが、今まで出来たことが出来なくなっているというのが現状だと思います。今までは、人も居たし行政が先になっていろいろと政策を進めてきたのが、自助、共助ということで計画に書かれていますが、果たしてこれが実現できるのかなと思う部分があります。この計画にあるように進んでいけばいいという思いはあるのですが、難しくなるのではないかという実感はあります。目標はあくまでも目標であって、それに向かって進むことは当然ですが、もっと現実を把握しないと絵に描いた餅になる可能性もあるのかなと思います。先ほども言いましたけれども13件あった酒屋が5件になったのも、時代で社会の波に飲まれたような気持ちがあります。本当に自分たちの地域を守って行くとなれば、出来るものからという視点もあるのではないかと思います。すみません。思いだけで話させてもらいました。

## ○会長

根本委員からお話ありました。事務局から何かありますか。

### ○支所長

目標は目標と言いますが、やはり実現不可能な、最初から分かっているものを目標に挙げても無理がありますので、いま根本委員がおっしゃったように、現実を見ながら検証し、目標設定も見直すということも大切なことだと思いますので、支所内はもちろんですが本庁の方とも協議して参りたいと思います。よろしく願いします。

### ○会長

他にございませんか。

ないようです。ただいま貴重なご意見をいただきました。この意見を踏まえて、再度調整するというこのようです。

それでは、「太田振興計画（案）について」ご承認いただけるでしょうか。

### 【異議なしの声】

ご承認いただきました。

ありがとうございました。

それでは、最後の次第6の「その他」に入ります。「平成27年度太田支所主要事業について」の説明をお願いします。

### ○市民サービス課長、農林建設課長、太田公民館長、農業振興情報センター参事

「平成27年度太田支所主要事業について」配布資料に基づき各担当課長が説明

### ○会長

平成27年度の主要事業について、各課長より報告・説明がありました。皆さんの方から何かありましたらお願いします。

### ○川原委員

最初のページになりますが、山荘の源泉開発事業についてであります。1千メートルくらい掘削するということで、現在800メートルくらい進んでいるというお話でしたが、このまま続けて出てこない可能性があるのか、出る見込みがあるのか、少し心配しております。そこら辺のところはどうなっているのでしょうか。

### ○市民サービス課長



こちらとしましても、毎日祈っている状態です。まず、このまま1千メートルまで掘ってみて、結果を待つという状態ですけれども、現在掘削を行っている業者は、事前に電気探査を行っております。その結果、出そうだということでゴーサインが出まして事業実施に至ったということです。業者の方でも電気探査を行ったという責任も感じているようですので、1千メートル掘った段階で万が一出ないとなった時には、業者の方でも技術的な部分での検討を行いまして、続けて掘るか、止めるかの判断がされると思います。ただ、現在の契約は1千メートルとなつておりますので、追加して掘るとなれば予算が伴いますので、市の判断ということになります。

## ○会長

よろしいですか。  
他に何かございませんか。

## ○大信田委員

市民サービス課の事業説明の中で、太田の火まつりになりますが、これまでは観光物産協会からも補助金をいただいた上で行われてきましたけれども、来年度は市から直接補助金が交付されるということでしたが、事業を拡大するということであれば、例えば地域枠予算も合わせて、これまでどおり行われるということになるのでしょうか。それとも地域枠予算は充てられないことになるのでしょうか。

## ○市民サービス課長

これに関しては私共も悩んでいるところですが、少し大変だと感じております。基本的に1つの事業に市の補助金が2つ使うということは出来ません。これまでは観光物産協会からの補助と市の補助を活用して開催されておりました。今度は市からの補助金となりますので、これにさらに地域枠を使うということは問題があると感じております。また、太田地域に限らず他の地域も同様でして、頭を悩ませているところでもあります。新年度になると思いますが、検討しなければならぬと思っております。予算の85万円ですけれども、これは会場の除雪と天筆の稲わら、稲ワラは約3から4反分の稲ワラを取っていただいて作成しておりますが、この2つだけでこれくらいの予算がかかっております。さらに花火は地元の方からの協賛により行っております。除雪して天筆を立てるだけでは、火まつりになりません。紙ふうせんを作るための材料や報酬、振る舞いなどはサービスしていただいている部分もありますが予算もかかっております。ですのでこの予算では、これまでのような火まつりは出来ないという状況になっております。最悪の場合、開催できないということにもなりかねません。たとえば、いままで地域枠予算に頼っていた分を協賛金で賄うとなれば、さらに大変だと感じております。協賛金の方も、増える見込

みがあればいいのですが、現状維持も厳しい状況となっております。先ほど根本委員のお話にもありましたけれども、地域の商店などの減もあります。また、個人の方から協賛金を募るとしても、なかなか継続は難しいのではないかと思います。明日、火まつりの実行委員会、太田を元気にする会の運営委員会が予定されております。その中で皆さんのお知恵をお借りしたいと考えておりますけれども、来年度に向けて検討しなければいけないと思っております。未確定な部分ですが、花火については国の交付金いただけるのかなと思っております。ただ、毎年花火を上げておりますが、対象となるのは今のを拡大した分と聞いております。交付金は100%ではありませんので、花火の打ち上げすべてを交付金で賄うことは出来ません。こういったことで、不足する部分の財源確保につきましては検討して参りたいと思っております。

## ○会長

他にございませんか。

ないようです。それでは平成26年度の地域協議会は、これで最後となります。この協議会では、この1年間大変お世話になりました鈴木支所長が退職ということになっております。支所長が皆さんにお礼を申し上げたいということです。支所長お願いします。

## ○支所長

時間が押しまして2時間ほどになりましたが、皆様にお礼申し上げたいと思います。今月いっぱいを持ちまして退職ということになりまして、これまで旧太田町時代から今日まで、委員の皆様を始め、地域の方々からは本当にお世話になりました。ありがとうございました。私はこの地域協議会には思いがありまして、合併当初は地域協議会の担当をしておりまして、立ち上げから難儀した経緯もありますが、現在は非常に順調に動いているようです。地域協議会は、旧太田町で言いますと議会のような形で、委員の皆様にはお忙しい中、ご審議いただきまして本当にありがとうございました。私も引き続き地元太田におりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。大変お世話になりました。ありがとうございました。

## ○会長

どうもありがとうございました。

それではこれで地域協議会を閉じたいと思います。

## ○市民サービス課長

それでは、本日の地域協議会は、これを持ちまして終了いたします。

本日はありがとうございました。

(午後 3 時 49 分閉会)

会議録署名委員

富 木 勇

根 本 昇